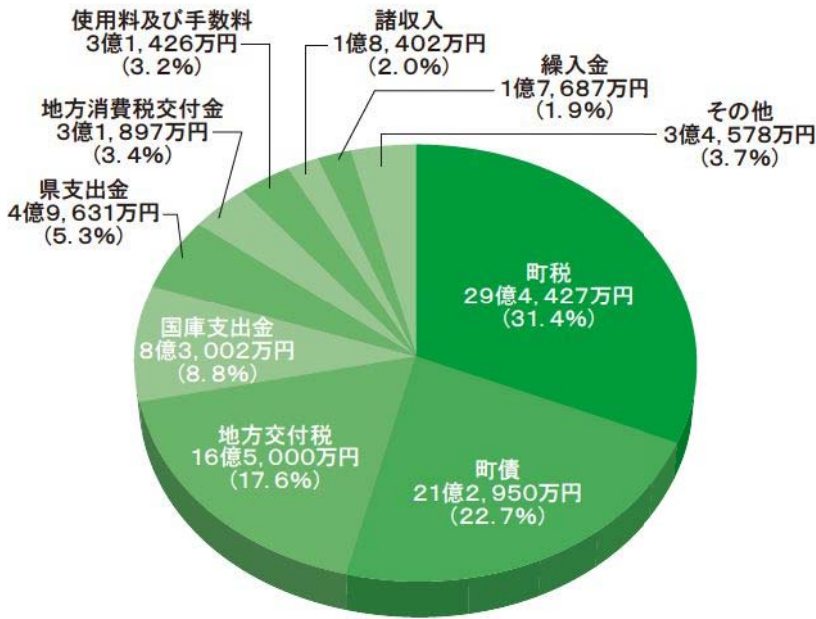


一般会計の歳入



町税	みなさんから納めていただいた税金で、王寺町では町民税と固定資産税が町税全体のおよそ9割を占めます。
町債	主に建設事業の資金として国や銀行などから借り入れるものです。家庭でいう「ローン」にあたります。
地方交付税	所得税など国の税金の一部が毎年市町村へ配分されます。全国どの町でも必要最小限の行政サービスを行うことができるよう交付されるものです。
国庫・県支出金	特定の事業を行う際に、その経費の財源として国・県から支出される負担金や補助金などです。

平成29年度 王寺町の 予算

3月に行なわれた町議会第1回定例会で平成29年度当初予算が議決されました。厳しい財政状況の中、限られた財源をどのように活かし、サービスを行っていくのか、予算概要をご紹介します。

問：政策推進課財政係（内線 208・209・211）

会計別予算額

区分	予算額	対前年比率 (%)	
一般会計	93億9,000万円	12.2	
特別会計	63億956万円	3.8	
特別会計の内訳	国民健康保険特別会計	29億6,100万円	2.1
	後期高齢者医療特別会計	3億2,200万円	5.6
	墓地取得特別会計	91万円	0.0
	介護保険特別会計	18億4,565万円	0.7
	下水道事業特別会計	11億8,000万円	13.7
合計	156億9,956万円	8.7	

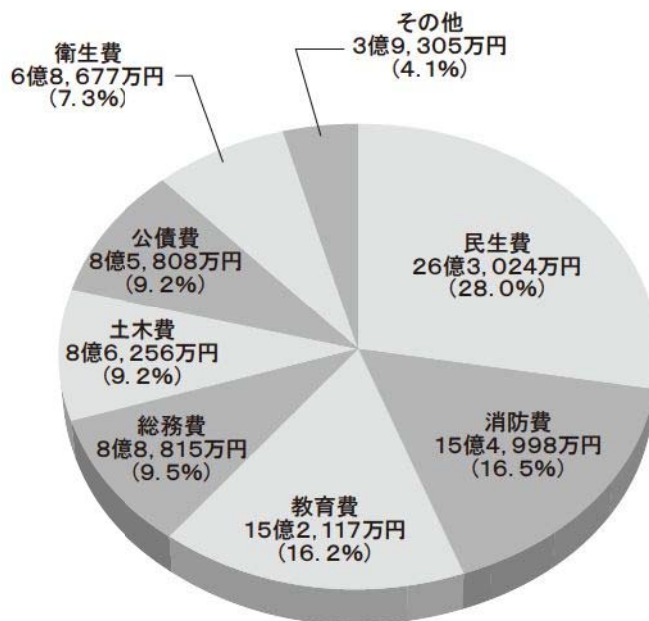
活気あふれる町へ

王寺町は、聖徳太子ゆかりの地として、長い歴史の中で育まれてきた文化と、豊かな自然をはじめとする素晴らしい資産があります。これらを絶やす事なく、

誰もが「私たちの大好きな町！」とオススメしたくなるような、活気あふれる町を目指し、様々な施策に取り組んでまいります。

民生費	子育て、高齢者、障害者福祉、医療費の助成などの事業にかかる経費
消防費	火災予防や水防など、災害対策のための経費
教育費	小中学校などの学校教育やスポーツ施設、公民館、図書館などの社会教育にかかる経費
総務費	職員の人事管理や広報、徴税、戸籍、住民基本台帳、選挙などの事業にかかる経費
土木費	都市計画、道路、橋りょう、河川、公園などの整備にかかる経費
公債費	町が借り入れた町債の元金や利子の返済にかかる経費
衛生費	がん検診、予防接種のほか、健康づくり、環境衛生、ごみの収集・処理などにかかる経費

一般会計の歳出



水道事業会計

		予 算 額	対前年比率(%)
収 益 的	収 入	7億6,657万円	31.7
	支 出	8億8,645万円	63.2
資 本 的	収 入	4,061万円	△ 2.9
	支 出	4億566万円	154.7

収益的収支

給水戸数9,504戸で年間総配水量243万㎡を見込んでいます。収入では、7億6,657万円、主なものは給水収益の5億3,060万円となっています。支出では、8億8,645万円、主なものは県営水道の受水費で、2億2,877万円、県営水道100%切替により使用しなくなる第1浄水場関連施設の固定資産の除却(固定資産の価値の耐用年数残存分だけ固定資産台帳から除く作業)分として固定資産除却費3億590万円を計上しています。

資本的収支

収入では、4,061万円、主なものは新設加入金で2,079万円、国庫補助金で1,982万円となっています。支出では、4億566万円で、県営水道100%切替にかかる工事費を含む建設改良費が主なものです。今年度は県営水道100%切替にかかる費用により収益的・資本的収支で大きく支出が上回りますが、積立金により補填します。

予算の特徴

王寺に住みたい人、住み続けたい人、訪れたい人を増やしていくため、今年度も積極的な予算となっています。一方、財政構造の硬直性を表す経常収支比率は、平成27年度決算では、前年度より2.4ポイント低い92%と改善していますが、引き続き全国平均の90%を上回る厳しい財政状況となっています。

しかしながら、全国の自治体が本格的に人口減少対策への取組を開始した平成28年度に引き続き、「地方創生」に最大限に注力し、国からの財源を確保して新しい取組に着手していきます。

住民皆様と共有する一つのビジョンとして、「くらし満足度」県内トップの生活空間をめざし、「安全・安心のまちづくり」、「住み続けたいまちづくり」、「未来を担う人づくり」、「住民に開かれ自立するまちづくり」の4つの基本政策に基づく各種事業をご紹介します。

既存木造住宅への耐震 診断支援・改修補助

防災・減災（まちづくり推進課）

新耐震基準となる建築基準法施行令改正前（昭和56年5月31日以前）に着工された木造住宅の耐震診断費用と耐震改修工事等にかかる費用を助成します。

▶耐震診断員派遣

奈良県で登録されている耐震診断員による木造住宅の耐震診断費用（5万円）を助成します。

▶耐震改修工事補助

耐震改修工事の費用の1/3（上限100万円）を助成します。

▶耐震シェルター工事補助

耐震シェルター工事の費用の1/2（上限15万円）を助成します。

375万円

公園遊具の長寿命化

安全（建設課）

安全で安心な公園遊具の利用環境を確保するため、公園の長寿命化計画を策定します。

また、老朽化による事故等を未然に防止するため、すでに長寿命化計画を策定した公園について計画的に更新を行います。

4,000万円

健康遊具の設置

健康（建設課）

誰もが日常生活の中で気軽に健康づくりができるよう、遊歩道や公園内に健康遊具を設置します。

350万円

奈良県健康ステーション

健康（保健センター）

誰でも、気軽に健康づくりを实践できる拠点として地域交流センター内に「奈良県健康ステーション」が開設されています。最新の機器と「健康サポーター」による健康度チェックを行うことで、個人に適した健康づくりを支援します。

404万円

事業名

カテゴリ（担当課）

事業の説明

予算額

泉の広場公民館（地域防災センター）・ 体育館建設

防災・減災（総務課・文化交流課・生涯学習課）

生涯学習の場、体育活動の拠点として利用されてきた、泉の広場公民館と体育館の老朽化に伴い、災害時には地域の避難施設として、平時には、公民館・体育館機能や自主防災組織等の訓練・研修等を行う複合施設として整備します。

18億円

文化福祉センターのバリアフリー化

防災・減災（総務課・社会福祉協議会）

災害時の福祉避難施設としての機能を高めるため、老人福祉センターのトイレ改修、段差スロープの購入等のバリアフリー化を行います。

新規事業

97万円

公用車へのドライブレコーダー設置

防犯（総務課）

犯罪に対する抑止効果、万一の事件・事故における関連映像の録画など、地域における防犯力を高めることを目的として、公用車にドライブレコーダーを設置します。

新規事業

19万円

自治会への防犯カメラ設置補助

防犯（総務課）

自治会で設置する防犯カメラの費用の1/2（1基につき上限10万円）を助成します。

100万円



**高齢者外出支援
(やわらぎの手帳優遇措置事業)**

福祉 (福祉介護課)

高齢者の外出支援を目的に、4つの選択肢から選んでいただけます。

▶ **高齢者優待バス運賃補助**

町内バス路線が一回100円の自己負担で乗車できます。

▪ **対象年齢**：71歳以上

▶ **高齢者運転免許自主返納者優待バス運賃補助**

運転免許証を返納された方で、通常のやわらぎの手帳「バスカード」を利用する際は自己負担を無料とします。

▪ **対象年齢**：70歳以上

▶ **高齢者優待JR運賃補助**

JRだけでなく、バスや近鉄等の公共交通機関で利用できるイコカカード(5,000円/年、初年度は4,500円)により運賃補助を行います。

▪ **対象年齢**：71歳以上

▶ **高齢者優待タクシー運賃補助**

利便性のあるタクシーで使えるチケットにより運賃補助を行います。(9,600円/年、有効期限2年間)

▪ **対象年齢**：71歳以上

2,494万円

高齢者入浴優待券

福祉 (福祉介護課)

町内の公衆浴場(さくら湯)が1回につき100円の自己負担で利用できる入浴券を月7枚(84回)から月10枚(120回)に拡充して交付します。

▪ **対象年齢**：70歳以上

564万円

**大和川ふれあい広場ジョギング
コース整備 (多間橋~出合橋)**

まちづくり (建設課)

水辺に親しみながらジョギングや散歩を行えるよう、大和川ふれあい広場の多間橋~出合橋間(約400m)にゴムチップ舗装を施し、大和川・葛下川の一体的なジョギングコースとしての整備を図ります。

新規事業

2,092万円

健康ウォーキング

健康 (保健センター)

▶ **「ウォーキング実践教室」の開催**

『健康寿命奈良県一』を目指して、皆様に「歩く」健康づくりに取り組んでいただけるよう実施します。

▪ **対象**：国民健康保険加入者のうち
特定健康診査受診者

▪ **日程**：6月~2月までの毎月1回

▶ **「てくてく健康チェックデー」を開催**

保健師や管理栄養士による、活動量計を利用した生活習慣の改善指導や、血液検査等による定期的な健康チェックを実施します。

▪ **日程**：毎週土曜日

115万円

(国民健康保険特別会計)

ふれあいサロン活動の推進

福祉 (社会福祉協議会)

地域に住む人たちの出会い、交流の場、仲間づくりを推進するため、開設費(初年度のみ、上限5万円)及び運営費(2年目以降、上限3万円)の助成を行います。

新規事業

31万円

『秋の明神山ふれあいワゴン』の開催

福祉 (福祉介護課)

明神山へ登ることが困難な高齢者を対象に、ワゴン車で山頂まで送迎し、大パノラマを望んで散策や、介護予防体操等を実施します。

36万円

(介護保険特別会計)

水辺空間の街灯整備 (薬王橋~阿弥陀橋)

まちづくり (建設課)

夜間でも安心してウォーキングなどの運動や、夜桜等を楽しむことができるよう葛下川遊歩道の薬王橋~阿弥陀橋間(約950m)に街灯を設置し、快適で潤いのある水辺空間の整備を図ります。

新規事業

1,754万円



国民文化祭の開催

文化・芸術の鑑賞（文化交流課）

「第32回国民文化祭2017」が奈良県で開催されることにあわせ、王寺町では、奈良県で唯一のイングリッシュハンドベルの祭典「王寺ハンドベルフェスタ」※①を文化福祉センターで、雪丸を題材とした落語と講談「聖徳太子と愛犬雪丸ものがたり」※②を達磨寺で開催します。

・開催予定日：※①9月3日（日）、※②11月11日（土）

新規事業

598万円

文化講演会

～笑いでつくるまちづくり～の開催

文化・芸術の鑑賞（文化交流課）

王寺町子ども落語教室開講10周年を記念して、ラジオ大阪アナウンサーで町観光広報大使である原田年晴氏司会によるシンポジウムや、落語家の桂九雀氏と王寺町子ども落語教室生やOBによる大喜利を行うなど、健康の源である笑顔を更に増やす元気あふれる催しを開催します。

・開催予定日：8月19日（土）

290万円

達磨寺方丈の保存修復

文化財の保存・継承（生涯学習課）

寛文7年(1667年)の建立以来約350年が経過し、柱の傾斜が著しくなっている奈良県指定文化財である達磨寺方丈の半解体修理費用について、ルールに基づき町から補助を行います。（予定期間：平成29～31年度）

新規事業

1,000万円

（財源はふるさと寄付金としていただいた浄財を活用）

西安寺跡（舟戸2丁目）発掘調査事業

文化財の保存・継承（生涯学習課）

舟戸神社境内で、飛鳥時代に聖徳太子が創建したといわれる西安寺跡の塔跡が発見されました。飛鳥・奈良時代の基壇及び礎石が良好に残る遺跡であることから、国の史跡指定をめざし、発掘調査を実施します。

675万円

盆踊り大会の開催

まちづくり（まちづくり推進課）

地域住民の親睦と交流をはかり、ふるさとの良さを実感することができる盆踊り大会を夏季の帰省の時期に合わせて開催します。

・開催予定日：8月13日（日）

550万円

富田駅前広場・道路の整備

まちづくり（まちづくり推進課）

富田駅前には歩道が未整備であり、車道も対面通行が困難であることから、結節機能の強化を図るため、駅前広場及び接続道路の整備に伴う詳細設計及び用地取得等を行います。

1億円

王寺ミルキーウェイ（天の川）

2017の開催

まちづくり（政策推進課）

交流人口の増加による賑わいの創出や、ふるさと意識の醸成をめざし、まちの地域特性である水辺空間・歴史空間を活用したイベント「王寺ミルキーウェイ（天の川）2017」を開催します。

・開催予定日：11月18日（土）

1,300万円

文化・芸術イベントの開催

文化・芸術の鑑賞（文化交流課）

文化・芸術の鑑賞機会を提供する取り組みとして、多彩なイベントを開催します。

【 】は開催予定日。

- ▶ 民謡と和太鼓のつどい【7月2日（日）】
- ▶ こころにピアノ（年5回）
- ▶ やわらぎ王寺寄席【1月20日（土）】
- ▶ やわらぎ名画劇場（全6回）
- ▶ ムジークフェストなら in 王寺
【6月17日（土）・6月24日（土）他】
- ▶ リーベアアラカルト（毎月開催）
- ▶ 吹奏楽フェスティバル【7月30日（日）】
- ▶ シンディの超御機嫌音楽会【3月25日（日）】

422万円

産前産後すくすくヘルパー派遣事業

妊娠・出産・乳幼児（福祉介護課）

体調不良等のため家事や育児が困難で、周りからの支援を受けることができない方の負担を軽減し、安心して出産・子育てができるように支援します。
（1時間につき、利用者負担500円）

400万円

すくすく子育て支援センターの運営

妊娠・出産・乳幼児（保健センター）

妊娠期から子育て期（概ね3歳6か月児健診が終わるまでの期間）の母子保健や育児に関する様々な悩みに対し保健師等と専門的な相談ができ、切れ目のない支援を提供する体制を保健センター内に構築します。

新規事業

119万円

幼稚園保育室に空調（エアコン）を設置

幼稚園（学校教育課）

体温調節能力がまだ十分に発達していない幼児の学びの環境整備として、町立幼稚園3園の保育室に空調（エアコン）を設置します。

新規事業

1,188万円
（平成28年度3月補正）

義務教育学校の基本計画策定

小・中学校（学校教育課）

子どもたちの心身の発達に応じて9年間の一貫した教育を実施することで、教育の質の向上だけでなく、施設面においても充実した学びの環境が提供できるように、町内の5校（3小学校、2中学校）を再編し、2校の義務教育学校の整備に向け、校舎や運動場の配置も含め土地利用調査などの基本計画を策定します。

新規事業

1,300万円

定住促進事業

定住・雇用促進（まちづくり推進課）

王寺町への若者の転入及び定住を促進・支援するために、住宅取得やリフォームに係る費用を助成します。

▶3世代ファミリー定住支援

子育て世代と親世帯が町内に同居、または近居するために住宅を取得する場合、もしくは同居するために持家をリフォームする場合に費用の一部（一戸あたり、20万円）を助成します。

▶U-40定住チャレンジ支援（若者定住支援）

転入日または転居日に満年齢40歳以下の方がいる世帯が、町内に定住するための持家を取得する場合に費用の一部（一戸あたり、20万円）を助成します。

600万円

雇用・子育て支援センター（テレワークセンター）の整備

定住・雇用促進（政策推進課）

子育て世代の女性等の就業機会を増やし、通勤時間の負担軽減やワークライフバランスの充実を図るため、柔軟な働き方ができる場を整備します。

9,550万円
（工事費は平成28年度3月補正）

キャッシュカードによる口座振替受付サービス

利便性の向上（税務課・国保健康推進課・上下水道課）

町税等の口座振替申込手続きを、役場の窓口や水道の開栓時にキャッシュカードで受付することができる専用端末（口座振替受付サービス）を導入します。

新規事業

200万円

各種証明書のコンビニ交付

利便性の向上（税務課・住民課）

各種証明書（住民票、戸籍謄本・抄本、戸籍の附票、印鑑証明、所得証明書、課税証明書）を、全国のコンビニエンスストアに設置している端末から、マイナンバーカードを使用して交付できるシステムを6月から運用開始します。

新規事業

517万円



こころのプロジェクト「夢教室」の開催

中学生（生涯学習課）

トップアスリート（OBを含む）を夢先生として中学校に派遣し、多くの生徒に夢を持つことや、夢に向かって努力することの大切さを伝える「夢教室」を開催します。

新規事業

66万円

子どもの未来応援事業アンケート調査

乳幼児～中学生（福祉介護課）

町の未来を担う子どもたちやその家庭の実態を把握するとともに、経済的支援等のニーズや効果を検証し、今後の子育て施策に反映させるため、0～15歳の子育て世帯の保護者を対象にアンケートを実施します。

新規事業

196万円

子ども食堂運営補助

子ども（社会福祉協議会）

子どもたちの健やかな成長を支え合い、地域の人とふれあうことができる「子ども食堂」を開設し、運営に取り組む団体に対して、費用の一部（1団体上限12万円/年）を助成します。

新規事業

24万円

王寺町寺子屋塾（雪丸サポートスクール）

小・中学生（生涯学習課）

地域の経験豊富な人材を活用して、放課後や長期休業中等に一人ひとりの学力及び学習意欲の向上を図る、寺子屋塾（雪丸サポートスクール）を引き続き実施します。

1,545万円

2市2町観光ルート整備

観光・産業振興（地域交流課）

2市2町（柏原市、香芝市、三郷町、王寺町）が広域連携により、観光素材の価値を高め、情報発信の強化や来訪者の増加を目的に観光ルートを整備します。

新規事業

400万円

王寺駅周辺の商業活性化・起業家の支援

観光・産業振興（地域交流課）

王寺駅周辺の商業環境の整理や、飲食店等の誘致、起業家と投資家のマッチングについての動向などの事業計画を立案し、起業家支援のためのセミナーを開催するとともに、空き店舗改修費用補助によって空き店舗を利用した魅力ある店舗の誘致を実施します。

新規事業

2,150万円

魅力発信イベントの開催（観光協会）

観光・産業振興（地域交流課）

▶「PRイベント」の実施
地域経済の発展につなげていくため、2021年の聖徳太子御遠忌に向けて、聖徳太子ゆかりの達磨寺や愛犬雪丸を活用したPR活動を首都圏等で実施します。

▶「ウォーキングイベント」の実施
聖徳太子の愛犬「雪丸」の里を訪ね、王寺町の歴史に触れながら聖徳太子ゆかりの地を巡るウォーキングイベントを実施します。

▶歴史リレー講座「大和の古都はじめ」
毎月第3日曜日に地域交流センターで行われている人気の講座。今後も、大和の歴史学界を代表する講師陣による歴史リレー講座を開催します。

1,650万円

明神山山頂及びアクセス環境の整備

観光・産業振興（建設課）

明神山山頂の東側から奈良方面への眺望を楽しみながら飲食できるスペースを確保するため、地表部から張り出した栈敷デッキを整備設計します。また、現参道は道幅が狭い箇所もあることから、バイパス的な役割を果たす自動車が通行可能なアクセス道路の整備に向けて調査を行うとともに、現参道の路肩危険箇所の補強工事を行います。



新規事業

2,300万円